

総務文教常任委員会

R5. 5. 11 (木)
午前10時00分～
全員協議会室

1 開 議

2 案 件

(1) 行政報告

市長公室

○2022メディアプロモーションの事業報告について

生涯学習部

○亀岡市人権条例（仮称）制定審議会条例の制定について

○令和5年度スタディアブロード・プログラムについて

○かめおか霧の芸術祭について

3 その他

(1) 他都市先進地行政視察について

(2) 第72期（第4回）京都人権文化講座への参加について

【京都府市議会議長会から3名の参加要請】

日時：令和5年5月29日（月）午後6時30分～8時30分

内容：沈黙からの目覚め

講師：藤尾まさよさん（崇仁発信実行委員会代表）

会場：京都商工会議所 会議室A・B

※4/28の幹事会にて、総務文教常任委員会から3名選出を決定

(3) 次回の日程について

令和5年5月

総務文教常任委員会

【市長公室】

資料

(メディアプロモーションの結果について)

2022

メディアプロモーションの結果

朝日放送グループとの包括連携協定に基づく取り組み

2023.5.11 広報プロモーション課

1

実績

2022 メディアプロモーション実施内容

1	おはよう朝日です／10月～12月 PRポイント：野菜/かたもとオーガニックファーム 亀岡牛/牛楽 布団/金樹	視聴率 10.2	2,799,500 円
2	2022年ご当地”推しニュースGP／12月 PRポイント：野菜/かたもとオーガニックファーム 亀岡牛/牛楽、生産者	視聴率 6.8	2,999,700 円
3	ザキヤマ&トリンドルの全力収穫祭／12月 PRポイント：野菜/かたもとオーガニックファーム えびいも	視聴率 4.5	2,999,700 円
4	News.おかえり／1月 PRポイント：木の香アート/藤村工務店	視聴率 4.7	300,300 円
5	ふるさと研究所／1月 PRポイント：ダイコクバーガー、亀岡牛コロッケ、京野菜アヒージョ、丹波大納言の懐中もなか	視聴率 3.5	400,400 円
6	朝だ！生です旅サラダ／2月 PRポイント：有機の京漬物/株式会社KYOZUKE	視聴率 8.5	企画適用により無料

合計 9,499,600 円

2

実績

全番組合わせた視聴人数

約 **1,304.9** 万人

平均視聴人数（推計）から算出

テレビ番組の中で亀岡の情報発信ができた。

3

調査

1,304.9万人に対して情報発信できたが
果たしてどのような効果が得られたのか

ブランドリフト調査を実施

ブランドリフトとは、ブランディング広告の効果を調べる指標の一つです。番組終了後にアンケートを行って調査結果を収集し、番組に接触したグループと未接触のグループを比較して、ブランド認知度や好感度、購買意欲などに向上が見られたかを測定します。



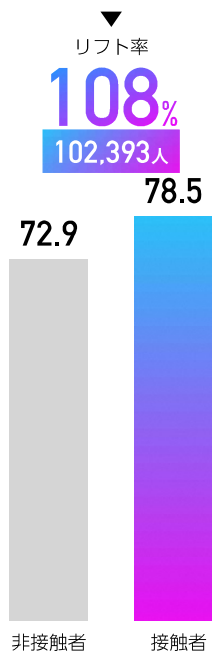
調査エリア	近畿広域（2府4県）
調査対象者	15歳以上男女
有効回答数	2137s 男48.5% 女51.5%
	非接触者 1071s 接触者 1066s

分析対象
12/22 おは朝ふるさと応援隊#3
12/24 ザキヤマ&トリンドルの全力取模祭！
12/28 2022ご当地推しニュースGP

4

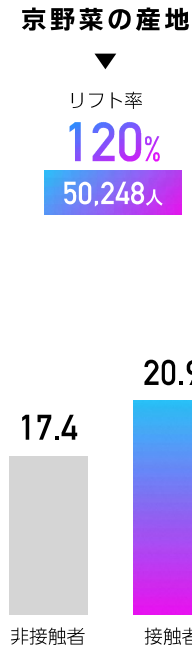
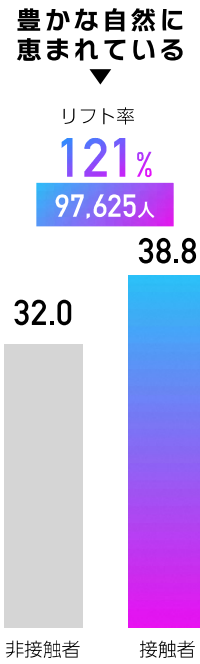
人数換算：接触者 (1,828,449人) × リフトアップ率 (%)

亀岡市の認知度



人数換算：接触者 (1,828,449人) × リフトアップ率 (%) × 認知者 (78.5%)

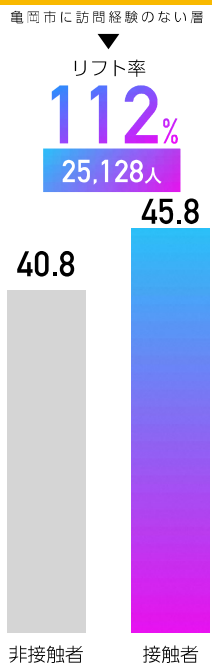
亀岡市について知っていることの認知



5

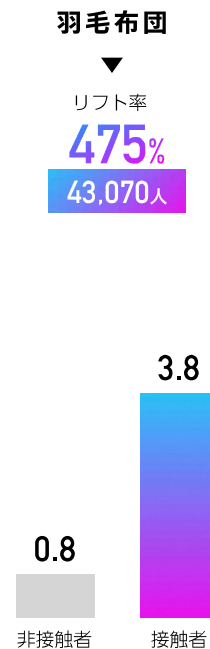
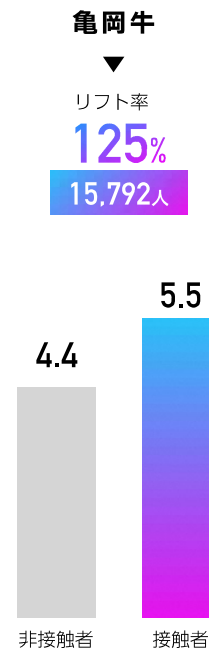
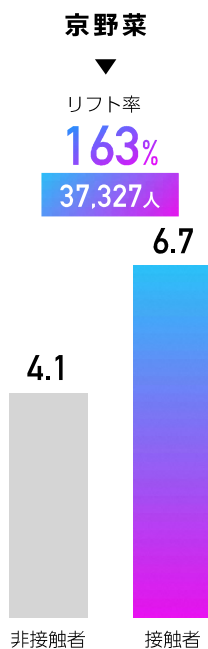
人数換算：接触者 (1,828,449人) × リフトアップ率 (%) × 訪問未経験 (27.5%)

亀岡市への訪問意向



人数換算：接触者 (1,828,449人) × リフトアップ率 (%) × 認知者 (78.5%)

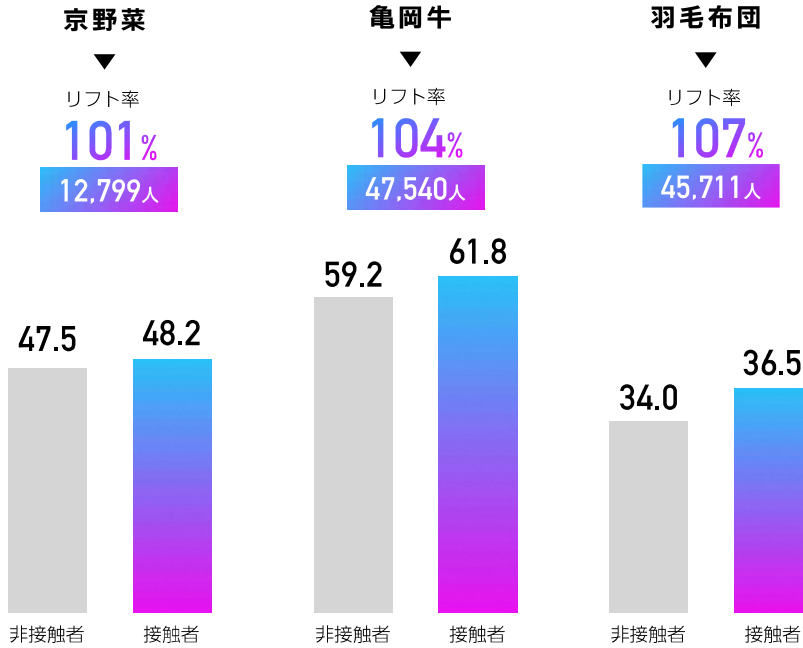
亀岡市の返礼品としての認知



6

人数換算：接触者 (1,828,449人) × リフトアップ率 (%)

亀岡市の返礼品魅力度



7

調査結果

効果
◎



大幅に向上させた

亀岡市の認知度UP 人数換算 102,393人 1人にかかった経費 **93** 円

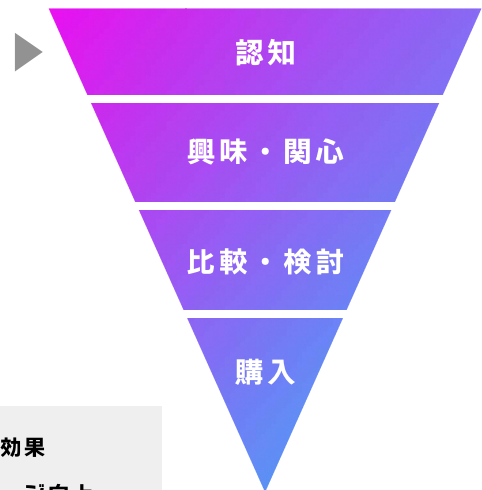
効果
○

「ふるさと納税」の市場が拡大する中で、返礼品競争は非常に激しい。デジタル広告などとの連携が不十分な部分もあり、即効性における成果としては限定的なものであったが、一定の効果はあったと考えられる。

考察

- 01 テレビ放送は、マーケティングファネルにおける「**認知**」に非常に有効であることが確認できた。
- 02 亀岡市のブランディング・シティプロモーションの一つの手段として、**継続的にテレビを活用**することは、非常に重要かつ有効な手段と考えられる。
- 03 デジタル広告など、**ほかのプロモーションと、連携を図る**ことで、より効果的なメディアプロモーションが実施できる。

マーケティングファネル



テレビ番組の 強み

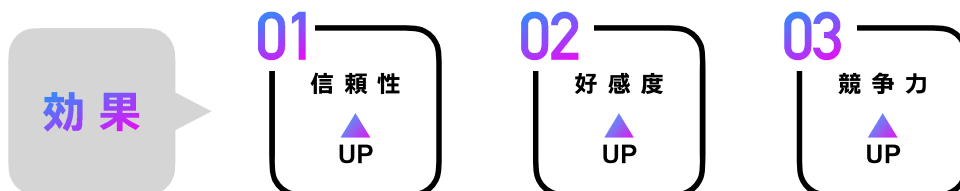
- ▶ 限定されない幅広い生活者に向けて、認知獲得効果
- ▶ メディアとして、信頼性が高く、ブランドイメージ向上
- ▶ 訴求力の強い映像制作

9

認知拡大の重要性

見て！聞いて！覚えて！認知拡大が成功の鍵！

認知拡大はブランドを広く知らしめることができるため、**ブランディングにおいて、最も基本的かつ重要な要素です。**



- 1 よく知られているブランドは、商品やサービスの品質に信頼性があると考えられます。
- 2 類似する商品やサービスが多数存在する市場では、知名度の高いブランドが優位に立ちます。
- 3 商品やサービスを必要とした時に、思い出す確率が上がります（ブランド想起率の向上）

10

継続の重要性

なぜ、継続したメディアプロモーションが必要なのか

継続して認知拡大を図ることは、マーケティングにおいて非常に重要です。

人は多くの情報が提示されている中で生活しており、一度見聞きしただけでは記憶に残りません。単発のイベントやマス広告のPR効果は非常に限定的

継続的にブランドに接触し続けることで、ブランド認知が定着する。

適切な消費者に向けて継続的な情報発信が重要です。



広告業界では、実験や各種データから次のように言われています。

- 1, 興味のない情報は1日で70%忘れてしまう（エビングハウスの忘却曲線）
- 2, 複数回同じ情報に接することで好感度が上がる。（ザイオンス効果）
- 3, 3回情報に触れると認知し、7回で行動をする（セブンヒッツ理論）

11

今後の展開

認知獲得効果など

＼ テレビの強みを活かして、亀岡市の重要施策をPR ／



+α

調査によって見えてきた課題
<PR不足の部分>

- ・ 亀岡へのアクセス（心理的な距離） 京都・大阪からのアクセスがいい
- ・ 京都サンガF.C.のホームタウンで、スタジアムがある。
- ・ 霧や雲海の絶景が楽しめる。 など

12

今後の展開

\\ 認知度(知名度)拡大で \\

選ばれるまち

かめおかへ



移住・定住



子育て



観光



物産



ふるさと納税



企業

認知されることで、興味を持ってもらい、ユーザーは比較や検討します。そもそも知られていないと、比較する選択肢にさえ入りません。

さらに、デジタルマーケティングを活用したシティプロモーションで選ばれるまちかめおかを目指します。

令和5年5月
総務文教常任委員会

【生涯学習部】

資料

- ・ 亀岡市人権条例（仮称）制定審議会条例の制定について
- ・ 亀岡市・スティルウォーター市スタディアブロードプログラム募集について
- ・ 令和5年度かめおか霧の芸術祭事業について
- ・ 令和4年度かめおか霧の芸術祭アーカイブブック（全体版・城跡芸術展版）

亀岡市人権条例(仮称)制定審議会条例の制定について

●検討委員会の検討内容

令和 4 年度に「亀岡市人権条例（仮称）制定検討委員会」を立ち上げ、令和 4 年 10 月から令和 5 年 3 月までの間に合計 4 回の委員会を開催し、人権条例の必要性について検討を行った。

検討委員会では、主に社会の人権をめぐる現状、亀岡市の人権侵害の状況、人権施策を推進する上での課題などを確認し、本市における人権条例の必要性について検討委員会で検討を進めた結果、本市においても様々な分野で人権問題の解決に向けた取組を進めているところであるが、現在もなお、複雑で多様な人権侵害が発生している。その解決に向けた取組を行政・市民・企業等が一体となって取組んでいく必要があること、人権施策を推進していくうえで、それらを審議していく市長の附属機関である審議会の設置が必要であるなどの理由から、本市にあらゆる人権問題を包括した条例が必要であるとの結論に至った。

令和 5 年 4 月 10 日には、座長及び副座長から桂川市長へ検討結果の報告を行った。

については、令和 5 年 6 月市議会において、条例の具体的な内容を審議する「亀岡市人権条例（仮称）制定審議会条例（案）」を上程予定としており、あわせて審議会の設置に伴う委員報酬についても、補正予算（案）の上程を予定している。

●検討委員会の開催

開催日等	主な内容
第 1 回 令和 4 年 10 月 3 日	委員委嘱 人権条例要否の検討
第 2 回 令和 5 年 1 月 30 日	人権条例要否の検討
第 3 回 令和 5 年 2 月 27 日	人権条例要否の検討
第 4 回 令和 5 年 3 月 28 日	人権条例要否の検討 亀岡市に人権条例が必要である結論に至る。

●亀岡市人権条例(仮称)制定審議会(案)

- ・委員 15 人以内で組織
- ・年間 5 回程度の会議を開催し、人権条例の具体的な内容を審議する。

亀岡市人権条例(仮称)制定検討委員会委員名簿

(50音順)

	氏名	備考
1	いしだ かずみ 石田 数美	特定非営利活動法人 亀岡子育てネットワーク理事長
2	いとう えつこ 伊藤 悦子	京都教育大学名誉教授
3	かわかつ てつや 川勝 哲也	亀岡市人権啓発推進協議会 人権教育啓発指導員
4	きそ としひろ 木曾 利廣	元隣保館のあり方研究会副座長
5	きそ のぶゆき 木曾 布恭	亀岡市自治会連合会副会長
6	こいずみ ひろこ 小泉 浩子	特定非営利活動法人 日本自立生活センター自立支援事業所長
7	なかかわ ひろし 中川 寛	亀岡市人権擁護委員会委員
8	なかむら ゆういち 中村 雄一	亀岡市障害者施策推進協議会会長
9	もり えみこ 杜 恵美子	【副座長】特定非営利活動法人 NPO亀岡人権交流センター理事長
10	やくしじ きみお 薬師寺 公夫	【座長】立命館大学名誉教授

亀岡市・スティルウォーター市スタディアブロードプログラム

令和5年度参加者を募集します

亀岡市とアメリカ合衆国のスティルウォーター市は、昭和60年に姉妹都市盟約を締結し、これまで訪問団を互いに派遣するなどの交流をしています。

令和5年度は、亀岡市立中学校の皆さんがスティルウォーター市を訪問し、ホームステイや現地の中学生との交流などを行うことで友好交流都市への理解や親睦を深め、国際感覚を身に付けるとともに、活きた英語を学ぶ機会としてスタディアブロードプログラムを実施します。

派遣先	アメリカ合衆国スティルウォーター市(交流校:スティルウォーター中学校)
日程	令和5年10月29日(日)～11月6日(月) ※受入先との調整等により日程が前後する可能性があります。
応募資格者	亀岡市立中学校の1～3年生または亀岡市立義務教育学校の7～9年生であって、渡航前に下記研修を受講できる者
募集人数	7人程度
提出書類	①申込書 ②参加承諾書<保護者が記入> ③作文(応募の動機及び現地で学びたいことを800字程度で記入) ※①②は、各中学校・義務教育学校、学校教育課(市役所4階)、文化国際課(市役所3階)窓口で配布しているほか、亀岡市ホームページ上でもダウンロードできます。 ※③は市販の400字詰め原稿用紙を使用してください。
申込期限	5月29日(月)
提出先	各中学校・義務教育学校
選考方法	選考委員会により書類審査(一次選考)を行い、合格者のみ面接(二次選考)を行います。
面接日時	7月2日(日)午後1時30分～午後4時30分[予定] ※面接時間の詳細は、一次選考の結果通知書に記載します(合格者のみ)。
選考結果	選考結果(一次、二次いずれも)は、郵送で本人及び学校に通知します。
事前研修	渡航前に研修を3回実施しますので、合格者は必ず受講してください。内容は、概要説明(ガイダンス)や英語講座、亀岡市の紹介方法などを予定しています。 ①8月27日(日) ②9月30日(土) ③10月15日(日) ※各日3時間程度、会場は亀岡市役所の予定。
参加費用	無料(ただしパスポート申請に係る手数料、任意に加入する傷害保険料等は自己負担)
補償	主催者が加入する傷害保険
その他	渡航予定時期の国際情勢や派遣者数によっては、派遣を中止することがあります。また、帰国後に感想文の提出や報告会等への参加をお願いします。上記の面接又は事前研修の日に学校の部活動に関する公式大会があり出席できない場合は、下記の問い合わせ先にご相談ください。
主催	亀岡市、亀岡市教育委員会
問い合わせ	亀岡市役所文化国際課 電話:55-9655(直通) メール:bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp



令和5年度 かめおか霧の芸術祭

文化芸術事業補助金
1,000千円
【KIRICAFF】

KIRI² 芸大祭
(KIRI² 芸大成果発表展)

妖怪図鑑

京都府補助金
※実行委員会が申請

その他、
KIRI CAFE家賃
畑・駐車場・
保険等の経費

文化芸術事業補助金
20,000千円

【文化庁補助金】

城跡芸術展
(展覧会)



かめおかゆかりのアーティストによるワークショップ

開かれたアトリエ展覧会



※開かれたアトリエ
プランナー経費を含む

運営等に係る人件費
・総合プロデューサー
・統括ディレクター
・プロジェクトマネージャー

事務費
芸術展アーカイブブック製作費

KIRI² 芸術大学

“手から学ぶ”実践講座
(ワークショップ)

“頭で学ぶ”教養講座
(トークイベント)

オープンキャンパス
(ワークショップ)

KIRI FARM運営



市役所各部署等との連携

SDGs・環境・農業・商工観光・図書
教育・多文化 etc

マルシェ



こどもプロジェクト

小・中・高校と連携



こどもみんげいPJ



図書PJ

資源循環PJ



広報経費

アーカイブブック制作

事務費

その他経費